



アの爽かぜ風



～目次～

- 年頭の挨拶 理事長 田巻 國義
- 病院短信『新年のご挨拶』院長 吉村 一克
- 作業療法科だより 宮原 瑞季
- 介護だより 丸山 かおり
- 日常の一コマ 馬場 圭美

1月の予定

- ◆誕生日会 各病棟にて
 - 1病棟: 17日(水) 14:30～
 - 2病棟: 18日(木) 14:30～
 - 3病棟: 12日(金) 14:30～
- ◆獅子舞を予定しています



キャンドルサービス

令和5年度キャンドルサービスが厳かに開催されました!!

ハンドベルとピアノの演奏に合わせて
きよしこの夜とジングルベルを合唱しました(*^▽^*)

最後にセントノアサンタにより患者さんにプレゼントが渡されました(#^_^#)

今日のナナ

ボールで遊ぼう (*^▽^*)

ナナちゃん♥しつこ〜い (*_*)
諦めが悪いぞ (-_-メ)
…仕方ないな〜正月だし遊ぶか〜♥
えへっ (*´ω`)

1 ボール遊びしよう

2 わえ〜遊ぼう

3 わえわえ

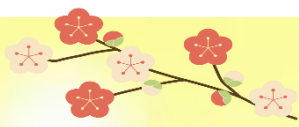
4 一生のお願いです<(_ _)>

忙しいから今度ね

介護だより

3病棟 介護福祉士 丸山 かおり

患者さんの排泄介助をしていた時、「大変な仕事だね。僕には出来ない仕事だ。ありがとう」とよく言ってくれる方がいます。「そんなことないですよ。〇〇さんも大変な仕事をされていたのですよね?」「そうなんだよ」と、少し照れた感じでご自身が勤めていた会社や仕事のことを話していただきます。数分前のことは「そうだった?」と忘れてしまうのですが、何十年前のことは最近のことのようにスラスラと話していただきます。不思議ですね。ちょっとした患者さんとの会話の中で、少しでも昔の楽しかった出来事を思い出していただけたらと思います。



日常のーコマ

今月はマサ枝さん（94歳）のーコマです。東京都で生まれ、乳児の時に養子縁組されました。その後養父母に3人の子供が生まれ、4人姉妹の一番目として育てられました。高校卒業後は得意の絵画に関する仕事に就き、その後20代後半で保険の外交員となり、仕事一筋で75歳まで勤め上げられました。

マサ枝さんが姪御さんと甥御さんを連れて、千葉の海へ旅行に連れて行ってくれたことや旅館の食事に『舟盛り』が出てとても嬉しかったことが今でも忘れられませんと姪御さんが語ってくれました。

平成25年84歳の頃から認知症状が現れ、道に迷って交番に保護されるといったことがありました。翌年施設に入所しましたが、他室侵入や物品収集など頻回でその都度、施設を転々とする事となりました。この間にアルツハイマー型認知症と診断されて、処方された薬を飲み始めましたが効果は乏しかったようです。

令和元年、転倒により右大腿骨を骨折し手術を受けましたが、その後のリハビリは拒否したりと上手くいかず施設へ戻りました。車椅子生活となりましたが、徘徊・物品収集は続き、どの施設も対応困難となり令和4年当院に入院されました。

入院当初は徘徊や物品収集は続き、またテレビへのこだわりが強く、テレビの真ん前に行き、他の患者さんとトラブルになったこともありました。それらに対しては、レクリエーションに参加を促して



みたり、おしぼりタオルを丸める作業を手伝ってもらいました。仕事一筋だったマサ枝さんは、芯がしっかりしていてとても丁寧に作業をしてくれます。今は落ち着きを取り戻し、食事もゆっくりですが、きれいに毎食完食なさっています。言葉は少ないですが、スタッフがケアをした時はいつも「ありがとう」と言ってくれます。子供の頃から可愛がっていた姪御さんが頻繁にご面会に通って来てくれます。これからもマサ枝さんの笑顔と姪御さんとのご面会が続けられる様、スタッフ一同頑張っていきたいと思ひます。

2病棟 看護主任 馬場 圭美



「年頭の挨拶」 理事長 田巻 國義
新年おめでとうございます。令和6年がスタートしました。皆様お正月はいかがお過ごしでしょうか。年頭にあたり、改めて当院の紹介をしたいと思います。忠洋会セントノア病院は、川越と春日部にあり、両院ともに168床の同じ規模の病院で、川越が開院22年目、その3年後に開院した春日部が19年目になります。「認知症」という名称の表現が2004年から一般化されたとの事ですから、それ以前に高齢者の認知症専門病院としてのスタートも、当時は画期的な試みだったとも思います。病院の紹介についてはホームページも参考にしていただければと思います。さて、当院は「医療と福祉の両立を目指す病院」として発足し、
「一切拘束はしない」
「入院期間に制限を設けない」
この二つの原則を守り、実践して今日に至ります。地域の特性としては東京や埼玉が多く、入院患者の平均年齢は80歳を越え、平均在院年数は3年余り、入院10年の患者もおります。年間70〜80人の入院患者ですから、両院で延べ3000人の患者さんを受け入れてきました。
治療は原則院内で行います。入院患者は皆さん相当な基礎疾患を持って入院されますが、多くの患者は入院後元気になる、表情も穏やかで、家族の方に喜んでもらえます。病気の治療より、日常のケアが大きなウエイトを占めます。すなわち、一日3回の食事とおやつの介助・オムツ交換・入浴・リハビリ体操・音楽療法など、スタッフは大忙しの毎日ですが、プランニングされた日常の規則正しい生活

活が患者の元気を向上させます。こういう様子はこれまで家族の方に自由に頂いていたのですが、数年前からの新型コロナのため、以前のように自由に家族の方が病棟を見学しにくくなって、私も家族の方との面談が自由になりました。今後は以前のように家族の方との交流を心掛けたいと思ひます。認知症患者は本人に病識がないため、それを全て背負って支えている家族の方との交流はとて大切で、以前は談話室も家族の方でいっぱいでした。それでもようやくこの1〜2年、春のお花見会、秋祭り（昨年から人数制限もなく、大勢の家族の方が参加されました。）など再開しております。私自身も外科医として30数年、現在の仕事に關わって20年、昨年傘寿を迎えました。自身も受診する機会が増えて、医療を受ける側からの期待や思いがどんなものか考えることが多くなりました。治療内容などは、現役の外科医の頃と大きな違いはないのですが、迷うこともあり、その時こそ家族の方との信頼関係の大切さを痛感します。今後も来院される家族の方の率直な意見や希望を聞きたいと思ひます。
日本のような高齢化社会では、認知症患者の対応はこれまで以上に社会問題になるでしょう。テレビや新聞などでも以前より大きく取り上げられるようになってきました。当院のような役割についても、もう一度初心に帰って検討して歩んでいく所存です。
皆様にとつても龍の凧が高く上がるような良い一年となりますよう祈願して、年頭の挨拶と致します。



病院短信

院長 吉村 一克

『新年のご挨拶』

新年あけましておめでとうございます

新型コロナウイルスが落ち着いてきたかと思つていたら今度はインフルエンザの大流行、2024年はどんな年になるのでしょうか？車の運転を始めて40年以上経ちましたが、昔は道路地図を頭に入れ、その都度確認しながら遊びに行っていたのですが、カーナビゲーションが優秀になり道順を覚えなくても行きたいところへ行けるようになって地図をみる習慣が無くなってしまいました。昔走つた道順も今となつては思い出すことができません。テレビ番組で行ったことがあるような観光地が映し出されても、何県なのかも思い出せないことが多くなりました。毎日通勤で同じ道を走っていると、ふと手前の交差点は渋滞せず通過できたのかどうかと思ひ出せなくて焦ることがあります。これが短期記憶の障害なのか、印象に残らなかつただけなのか判断ができません。若い頃もすべてを記憶しているわけではなかつたので、気にしすぎるだけなのかもしれません。
年を重ねるにつれてイライラして怒りっぽくなつてくることは避けようのないことのようにです。これはセロトニンの減少と、男性ホルモンやテストステロンや女性ホルモンのエストロゲンの分泌減少によつて、精神的に不安定な状況に陥ることが増え、年齢とともに前頭葉が委縮していくため、イライラや怒りを抑制する機能が弱まってくつたためです。イライラしたり怒りっぽくなるのは老化現象なので、堂々としていてもいいのですが、さすがに周りに迷惑をかけては申し訳ありません。そんな時は深呼吸が効果的だと言われています。深呼吸で取り込まれる酸素量は通常の7〜8倍で、脳に酸素が十分にいきわたると脳の偏桃体という部分の興奮が収まり交感神経の興奮を抑えることが分かつています。またゆっくりと深呼吸をすることで怒りの対象から少し離れリラックスする時間を作ることができるようです。
我が家の愚犬が目の前でアクビのような深呼吸をよくするので、これは飼主へのイライラを我慢しているからかもしれない。イライラしない良い年をお過ごしください。

作業療法科だより

作業療法士 宮原 瑞季

新年あけましておめでとうございます。
寒さも一段と厳しくなつてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回は昨年行った芋煮会について紹介させていただきます！
昨年も皆様にご協力いただき、セントノア畑でさつまいもを育て、収穫することが出来ました。そのさつまいもを使用して、郷土料理である芋煮を一緒に作り、ピクニックがてら屋外で味わいました。気温が低くなつてきましたが、芋煮で温まり、和気あいあいと過ごすことが出来ました。「外で食べるとより一層美味しい」「おかわりしてもいい？」「芋煮に乾杯！」などいつも以上に笑顔と会話が飛び交う企画となりました。引き続き皆様に季節を感じつつ楽しんでいただける活動を提供していきたいと思ひます。

